

# 産業文化公園及び道の駅デンパーク安城の

## 指定管理者の候補者選定結果

安城市指定管理者選定委員会において、指定管理者の候補者となる団体を次のとおり選定しました。

- |            |                                |
|------------|--------------------------------|
| 1 指定管理者候補者 | 公益財団法人安城都市農業振興協会<br>安城市赤松町梶1番地 |
| 2 指定期間     | 平成31年4月1日から平成36年3月31日<br>(5年間) |
| 3 指定管理料提案額 | 1,657,980千円(5年間総額) <b>※注1</b>  |
| 4 選定委員会開催日 | 平成31年10月16日                    |
| 5 選定理由     |                                |

デンパークは、都市と農村との交流や憩いと安らぎの場を提供するとともに、農業を始めとする産業振興をコンセプトとして、平成9年に開園した。

現在では、3,300種・30万株の花とみどりが溢れる自然豊かな公園として、本市を代表する観光資源となっている。

開園以来、公園を高いレベルで管理し、独自の企画や植物の魅力を伝えるなど、質の高い運営を行ってきたのは、平成8年にデンパークを管理運営することを目的として、本市を含む15団体が出捐して設立した、財団法人安城都市農業振興協会である。

(平成25年4月1日には、管理運営において経理的基礎及び技術的能力を有し、事業内容も適正であると認められ、公益財団法人に移行した。)

これまでの公益財団法人安城都市農業振興協会(以下「公益財団」という。)の経営実績としては、新たな指定管理期間として始まった平成26年度以降の3ヵ年で事業収益は増加しており、その中でも公益目的事業収益の増加率は高く、既存事業の充実や新規事業の開始などにより来園者への還元を実現している。また、正味財産期末残高も減少していないことから公益財団の経営状況は安定しているといえる。

加えて、年間入園者数も毎年増加しており、累計入園者数は1,100万人(平成28年12月18日)を超え、多くの方にデンパークを楽しんでいただいている。

今年度、開園20周年を迎えたことを契機に、より市民に親しまれる魅力的な公園づくりに継続的に取り組むことで、広く市内外にデンパークを発信できるものと考えている。

今後、更なる利用者サービスの向上に努めるとともに、グレードの高い公園として維持管理を行っていくうえで、デンパークの健全経営に実績のある公益財団が培ってきたノウハウは必要不可欠である。

以上のことから、引き続き公益財団にデンパークの管理運営を委託することが適切

である。

道の駅についても、デンパーク敷地内にあることから、一体的に管理運営することが合理的である。

上記理由と平成31年度以降の事業計画、収支予算の内容が認められ、安城市指定管理者選定委員会において指定管理者として選定された。

※ **注1** 消費税率について平成31年9月までは8パーセント、平成31年10月以降は10パーセントで計算した金額。消費税増税が決定した場合は、指定管理料が変更となる可能性がある。